

生物多様性の保全を地域と学び、考える「エコハーモニープログラム」を実施

～JALとイオン北海道が北海道長沼町から、生態系ネットワーク形成に取り組めます～



画像提供:長沼町

JALとイオン北海道は、生物多様性の保全を地域の皆さまと共に学び、考えることで人間社会と自然環境の調和を目指す「エコハーモニープログラム」を実施します。この活動では地域住民の方々を対象に、野生生物の専門家による座学や、舞鶴遊水地などの生態系と直接触れ合う体験活動を提供し、人間社会と自然環境が共存していくことの大切さを学べるプログラムを企画します。この「エコハーモニープログラム」という名前には、生態系「ecosystem」の保全を目的とし、環境と人間社会が調和「harmony」という意味を込めています。

JALとイオン北海道はこれまでも、廃食油リサイクルプロジェクト^(*)など北海道における持続可能な社会の実現に向けた活動を共同で展開しており、また両社とも北海道長沼町のタンチョウの保全に取り組んできた^(*)ことから、今回のプログラムも共同で展開することにしました。

JALとイオン北海道は石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会^(*)の一員として、長沼町から始まるこの活動を千歳川流域に浸透させるため、多様な価値を生み出す生態系ネットワークの形成に貢献してまいります。

■今年度のプログラム実施概要

目 的 :地域の小中学生を対象に、自然と生物たちのつながりや遊水地の重要性、地域とタンチョウの共存など座学や体験活動を通じて自然の価値を学ぶ

参 加 対 象 :北海道長沼町在住または長沼町の小学校に通う小学生、イオン チアーズクラブ^(*)千歳

日 程・内 容 :専門家による座学や説明に加え、自然観察や体験活動などを計3回実施予定

	日程	テーマ
第1回	2025年6月29日(日)	自然と生き物たちのつながり「生態系ネットワーク」を舞鶴遊水地で学ぼう
第2回	2025年8月頃	舞鶴遊水地の自然をもっと観察しよう
第3回	2025年10月頃	みんなもできる生態系ネットワーク

後 援 :北海道長沼町

協 力 :公益財団法人日本生態系協会、国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部、北海道中央バス株式会社 石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会、タンチョウと共存できる流域づくり協議会

(*) 2024年9月18日付 北海道エリアニュース「イオン北海道とJALが共同で廃食油リサイクルプロジェクトを開始」

詳細URL: <https://press.jal.co.jp/ja/areanews/release/202409/008329.html>

(*) JALグループ:北海道中央バス株式会社との連携による「タンチョウとの共生」を観光資源とするバスツアーの企画など。

イオン北海道:イオン 幸せの黄色いレシートにて舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会を支援。

(*) 石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会 詳細URL: https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/e1lg9o000000imt1.html

(*) 小学1年生から中学3年生までの子どもに対して、全国のイオン店舗周辺を活動拠点とし、体験活動を通じて無意識のうちに環境や社会貢献に興味を持ち、自ら考える場を提供するクラブ。詳細URL: <https://www.aeon-hokkaido.jp/corporation/social/cheers/>

【本件に関するお問い合わせ】

日本航空株式会社 北海道支社 広報宣伝 TEL:011-232-7210
イオン北海道株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL:011-865-9111